

研究課題の名称

達障害児の脳波異常と行動異常との関連に関する調査

研究の目的及び意義

達障害児の多くに脳波上、突発波が認められるが、抗てんかん薬投与にて脳波異常が改善すると達特性上認められる行動異常が改善する可能性があることが報告されている。しかし、これまでに脳波異常と発達検査から明らかになる発達特性との関連や、抗てんかん薬投与前後の脳波検査と発達検査の変化の関連を明らかにした研究はない。

のため、小児科外来に受診された患者で、自閉スペクトラム症、注意欠如、多動症の傾向がある場脳波検査を行い、発達検査結果、内服治療との関連を調べる。

研究対象者の選定方針

小児科一般外来、またはこころと発達の子ども相談外来に受診された患者で、自閉スペクトラム症、または注意欠如・多動症の傾向があり発達検査を行う患者。

研究予定期間 西暦 2020 年 1 月 28 日から西暦 2021 年 12 月 31 日